

# 5

## 修士学位取得のプロセス

### (1) 修士課程の修了要件

以下の全ての条件を満たした場合、修了となります。

#### 入学後4学期以上在籍すること（休学期間を除く）

ただし、早期学位取得要件<sup>1</sup>を満たした者は除く

#### 合計30単位以上修得すること（修士論文2単位を含む）

ただし、次の単位は修了に必要な30単位に含めることはできません

- 1) 自由科目
- 2) 次の単位の合計のうち10単位を超えたもの
  - ・入学前先行科目として認定された単位<sup>2</sup>（上限8単位）
  - ・他研究科設置の科目として修得した単位
  - ・入学後に他大学（留学など）で履修・認定されて修得した単位

#### 修士課程中間発表を実施すること

#### 修士論文審査に合格すること

#### 最終試験に合格すること

また、修士課程の修了にあたっては、修士論文の単位を修得しないで修了する場合（非修論オプション）があります。

非修論オプションの修了要件は次のとおりです。非修論オプションを選択する場合は、事前に担当教員とよく相談してください。

非修論オプションを適用する者は、大学院ガイド5章の文中で“修士論文”と説明があるものについて、“プロジェクト科目の活動と成果に関する報告書”と読み換えてください。

#### 入学後4学期以上在籍すること（休学期間を除く）

ただし、早期学位取得要件<sup>1</sup>を満たした者は除く

#### 合計30単位以上修得すること

ただし、次の単位は修了に必要な30単位に含めることはできません

- 1) 自由科目
- 2) 次の単位の合計のうち10単位を超えたもの
  - ・入学前先行科目として認定された単位<sup>2</sup>（上限8単位）
  - ・他研究科設置の科目として修得した単位
  - ・入学後に他大学（留学など）で履修・認定されて修得した単位

#### <sup>1</sup> < 早期学位取得要件 >

定義：大学院学則第109条第2項の「優れた業績を挙げた者」とは以下を満たした者とする。

GPA条件<sup>3</sup>を満たし（必須条件）、次の3例などに相当する顕著な業績をあげたこと

- ・査読ありのジャーナル論文1件（第一著者として）
- ・学術書の単著が一冊
- ・認知されたコンテストで上位入賞が一回

手続き：該当学生の主査は研究科委員会に早期学位取得理由書を提出する。学生は早期学位取得候補生であることを、修士論文査読者と最終発表審査員に事前に通知する。最終発表結果と主査の理由説明をうけて、研究科委員会が判断する。

#### <sup>2</sup> < 入学前先行科目の単位認定 >

総合政策学部・環境情報学部在籍時に、大学院政策・メディア研究科の「プログラム科目（学部併設科目を除く）」（2006年度以前修得点は「研究領域科目」）を入学前先行科目として履修、評語AかBを修得し、政策・メディア研究科に入学後に申請手続きを行った場合、8単位を限度として修了に必要な単位として認められることがあります。（政策・メディア研究科の科目等履修生として、プログラム科目を修得した者を含む）

なお、学部在籍時に卒業に関わる単位として修得していた科目は、入学前先行科目として認定することはできませんので注意してください。

【提出書類】 入学前先行科目単位認定申請書（プログラム学習指導の承認印が必要）、学業成績表（コピー可、原本呈示のこと。）

【提出締切】 4月入学者：第1学年 5月末日、9月入学者：第1学年 10月末日

【提出先】 館1階事務室学事担当窓口

学習指導教員の承認を得た所定の科目の履修条件（GPA条件<sup>3</sup>）を満たすこと

修士課程中間発表を実施すること

修士活動報告に関する審査に合格する事

プロジェクト科目の活動と成果に関する報告書を提出し合格すること

最終試験に合格すること

修士課程における研究活動と成果を中心にした発表を行い合格すること

## (2) 修士審査のスケジュール

詳細は「(3) 修士審査の詳細」で確認してください。各種届出用紙は [http://www.sfc.keio.ac.jp/students\\_mag/class/forms\\_mag.html](http://www.sfc.keio.ac.jp/students_mag/class/forms_mag.html) よりダウンロードできます。

		2012年度 春学期 修了予定者	2012年度 秋学期 修了予定者	2013年度 春学期 修了予定者	2013年度 秋学期 修了予定者
<b>修士論文(発表)題目 申請書提出</b>	修士論文題目、主査・副査ならびに修論/非修論オプションを申請する。題目の変更が必要な場合は、または で変更の手続きを行う。	(2011年 9/30 締切 済み)	4/13(金)	10/9(火)	2013年 4月上旬 予定
<b>修士論文(発表)題目 変更申請書提出</b> * 必要な場合のみ	の申請書提出後、中間発表までに題目の変更がある場合には、題目変更申請書を提出する。	(2012年 2/3 締切 済み)	9/28(金)	2013年 4月中旬 予定	
<b>中間発表</b>	最終試験に至るまでの中間的な進捗状況を確認する目的で発表を行う。発表時間は1人当り15分(発表10分、質疑応答5分)。	5/12(土)	10/20(土)		
<b>中間発表講評結果</b>	審査教員が記入した中間発表講評用紙を受け取る。	中間発表 約 1週間後			
<b>修士論文(発表)題目 最終変更申請書提出</b> * 必要な場合のみ	(または )で申請書提出後、修士論文提出までに題目の変更がある場合には、題目変更申請書を提出する。	6/21(木)	12/14(金)		
<b>修士論文提出</b>	修士論文、修士論文提出票、学位論文の複製・送信に関する許諾書を提出する。	7/3(火)	2013年 1/11(金)		
<b>最終試験(最終発表)</b>	修士課程の学力認定試験であり、修士論文を中心にして発表する。最終試験の発表時間は1人当り30分(発表20分、口頭試問10分)。	7/30(月)	2013年 1/31(木) 2/1(金)		
<b>最終試験結果発表</b>	最終試験翌日に発表される。	7/31(火)	2013年 2/4(月)		
<b>修士論文の訂正</b>	誤字・脱字等の修正を、審査員合意の上で主査が必要と判断し、主査から学生に指示があった場合のみ可能となる。				
	訂正リスト提出(主査からの提出のみ受付可能)	8/6(月)	2013年 2/8(金)		
	修士論文差し替え(メディア保管分1部)	8/10(金)	2013年 2/15(金)		
<b>修士課程修了発表</b>	修得単位数、修士論文の評価および最終試験結果が総合的に判断される。	9/5(水) 予定	2013年 3/8(金)		

2013年度大学院ガイドに掲載しますので、確認してください。

### <sup>3</sup> < GPA 条件 >

GPA条件とは、プロジェクト科目、修士論文、入学前先取り科目、自由科目を除く履修単位の科目の成績を、A=3.0 B=2.0 C=1.0 D=0.0と換算して計算し、平均点が2.5以上(小数点以下第2桁を四捨五入)を確保していることをいいます。

### (3) 修士審査の詳細

#### 修士論文(発表)題目申請書提出

指導教員(主査)と相談のうえ修士論文の提出が許可された場合は、修士論文を履修する前学期初めに、修士論文題目(発表)申請書を提出してください。原則として、主査は政策・メディア研究科委員でなければなりません。

【提出先】 A館事務室学事担当窓口

【提出書類】 修士論文(発表)題目申請書

申請書には、論文題目など必要事項を記入してください。

副査2名について主査より推薦してもらい、主査の承認を受けたうえで申請書を提出してください。(この3名で、修士論文の審査を行います。)

申請した題目は、控えを必ず取っておいてください。

副査は、原則として政策・メディア研究科委員または大学院「プロジェクト科目」を当該学期担当する教員とします。ただし、副査2名のうち1名は、当該学期政策・メディア研究科で研究指導を行っていない人(以下、外部副査と呼ぶ)を含めることができます。

#### 修士論文(発表)題目変更申請書提出 必要な場合のみ

論文題目を変更する場合は、指導教員(主査)と相談のうえ、変更申請を行ってください。

【提出先】 A館事務室学事担当窓口

【提出書類】 修士論文(発表)題目変更申請書

主査の承認を受けてA館事務室学事担当窓口へ提出してください。

申請した題目と、修士論文提出時の修士論文題目は、句読点、英語の大文字小文字等を含め、一文字も異なってはいけません。

申請した題目は、控えを必ず取っておいてください。

#### 中間発表

中間発表は、最終試験(最終発表)に至るまでの中間的な進捗状況を確認するものです。

中間発表時に配布するスケジュールで、申請した論文題目および主査・副査が正しいかを必ず確認してください。

【発表時間】 1人15分(発表10分、質疑応答5分)

【配布資料】 説明用のレジュメ(A4で1~2枚)を用意し、発表前に審査教員(一部屋20名程度)に配布してください。

【使用機器】 プロジェクター、書画カメラ

口頭試問の時間を次の発表者の準備に当てます。

発表時に万一機器の故障等があった場合に備え、必ず紙資料を準備してください。

原則として上記の機器を使用することとしますが、それ以外の機器を準備する場合は各自の時間内に準備、後片付けを行なってください。

#### 中間発表講評結果

中間発表の約1週間後に、審査教員の講評用紙が発表者ならびに主査に返却されます。修士論文作成、最終試験(最終発表)に向けて、参考にしてください。

#### 修士論文(発表)題目変更申請書提出[最終] 必要な場合のみ

論文題目を変更する必要がある場合は、指導教員(主査)と相談のうえ、変更申請を行ってください。

【提出先】 A館事務室学事担当窓口

【提出書類】 修士論文(発表)題目変更申請書

主査の承認を受けてA館事務室学事担当窓口へ提出してください。

申請した題目と、修士論文提出時の修士論文題目は、句読点、英語の大文字小文字等を含め、一文字も異なってはいけません。

申請した題目は、控えを必ず取っておいてください。これ以降、論文題目の変更は出来ませんので注意してください。

#### 修士論文提出

【提出締切】 春学期修了者:7月3日(火) 15:00 秋学期修了者:2013年1月11日(金) 15:00

【提出先】 締切日のみ 館2階教室(詳細は掲示で確認のこと)。それ以前は、A館1階学事担当窓口へ提出。

締切時間経過後ならびに書類不備の場合は一切受け付けません。また、提出後の差し替えも一切できません。

非修論オプションの場合、プロジェクト科目に関する活動と成果に関する報告書を提出してください。

#### 【提出物】

1) 修士論文: 主査分1部+副査の人数分部数+メディアセンター蔵書分1部の合計部数

まとめ方については次項の【(4) 修士論文のまとめ方について】を参照してください。

設計図、作品、ソフトウェア等の添付物がある場合も原則として論文の部数分提出してください。ただし、模型等の作品は受け付けません。

コピーのできない写真等の提出については指導教員と相談してください。

2) 修士論文提出票([http://www.sfc.keio.ac.jp/students\\_mag/class/forms\\_mag.html](http://www.sfc.keio.ac.jp/students_mag/class/forms_mag.html)よりダウンロード)

3) 学位論文の複製・送信に関する許諾書([http://www.sfc.keio.ac.jp/students\\_mag/class/forms\\_mag.html](http://www.sfc.keio.ac.jp/students_mag/class/forms_mag.html)よりダウンロード)

#### 最終試験(最終発表)

「最終試験(最終発表)」とは修士課程の学力認定試験であり、修士論文(非修論オプションの場合は修士課程における研究活動)を中心にした発表を行い、審査を受けるものとします。最終試験に合格することが修了要件になります。

【発表時間】 1人当り30分(発表20分、口頭試問10分)

【配布資料】 当日、説明用のレジュメ(A4で2~3枚、20部程度)を必ず用意し、発表前に審査教員に配布してください。

当日の発表の場では、指導教員(主査)は最終試験の審査員にはなれません。各会場ともに、副査を含む4名以上の審査員で審査されます。

**【使用機器】** プロジェクター、書画カメラ

口頭試問の時間を次の発表者の準備に当てます。

発表時に万一機器の故障等があった場合に備え、必ず紙資料を準備してください。

原則として上記の機器を使用することとしますが、それ以外の機器を準備する場合は各自の時間内に準備、後片付けを行なってください。

原則としてネットワーク接続はできません。

**最終試験結果発表**

**【発表日時】** 最終試験翌日 10:00

**【発表方法】** 学事 Web システム 個人ページにて公開( 館掲示板への掲出は行いません)

**修士論文の訂正**

修士論文の訂正は、原則として受け付けられません。ただし、主査が誤字、落丁、図表の欠落など、内容に大きな影響を与えない「体裁を整える」範囲での論文の一部訂正について必要と判断した場合のみ、訂正が受け付けられます。以下の手順で手続きをしてください。

**【提出先】** A館事務室学事担当窓口

**【提出方法】**

1) 主査が訂正リスト([http://www.sfc.keio.ac.jp/faculty/forms/academic\\_affairs\\_forms.html](http://www.sfc.keio.ac.jp/faculty/forms/academic_affairs_forms.html))よりダウンロード)を作成・提出する。

2) 1)に基づき、主査もしくは学生が訂正部分を含むページのみを紙に出力し、上記提出先に持参のうえ、差し替えを行ってください。(メディアセンターの保管分1部のみ)

**修士課程修了発表(学業成績表送付、Web 成績発表)**

修得単位数、修士論文の評価および最終試験結果が総合的に判断されます。

**【発表日時】** 春学期修了予定者: 9月5日(水) 秋学期修了予定者: 2013年3月8日(金)

**【発表方法】** 学業成績表上部の判定欄を確認してください。学業成績表は郵送しますが、Web上でも閲覧できます。

**(4) 修士論文のまとめ方について**

修士論文は、単位数としては2単位です(非修論オプションの場合は、単位は与えられません)が、原則としてプロジェクト科目の履修の一環あるいはその延長としてその内容を進めるものと考えています。なお、修士論文には、設計図、作品、プログラムなどいわゆる学術論文スタイルでないものも含まれます。

**【作成要領】** 修士論文の綴じ方のサンプルをA館1階学事担当窓口にて用意しています。必要に応じて確認してください。

1) 原則としてA4判縦、横書きで左綴じ、2穴ファイルに綴じてください。

2) コピーの場合は、変色しないものに限りです。

3) 綴じ方: 2穴ファイルの表紙を開けたとき、次の順になるよう綴じてください。

(日本語で論文を執筆する場合) 表題紙=>論文要旨(和文)=>論文要旨(英文)=>論文本文

(英語で論文を執筆する場合) 表題紙=>論文要旨(英文)=>論文要旨(和文)=>論文本文

部数: 主査および副査の人数分+メディアセンター分1部の合計部数用意してください。

4) 論文要旨はA4判1ページにまとめ、論文の主要な内容にかかわるキーワード5つ程度を下部に別記してください。

(このキーワードは修士論文がデータベース化された際、検索のキーになるものです。)

5) フォントサイズ、ページ余白、両面刷り・片面刷りの指定はありません。

**【言語】**

論文等の提出物は、日本語または英語のものとしします。

**【体裁】**

修士論文は以下に示す体裁例に準じてまとめてください。ただし、章・節のたて方、章・節の名称、順序などは自由です。下記の\*印は記述内容(例)の項目を示したものです。

**まとめ方の例****第1章 はじめに(序章)**

\* 研究のきっかけ・成り立ち

\* 研究の目的・意義

**第2章 研究の背景**

\* 国内外の研究状況

\* 研究の動向

**第3章 研究の概要**

\* 研究の概要

\* 研究の特徴・独創性

(他の研究との相違を明記する)

\* 期待する成果

\* 研究の方法

**第4章~第 章 研究成果**

\* 研究アプローチ・結果の詳細

\* 作品・プログラム等の説明

\* 特徴ある研究成果の主張

**第 章 おわりに(結言)**

\* 研究成果のまとめ

\* 今後の課題

**謝辞****参考文献**

\* 引用文献リスト

(本文中に引用した参考文献の文献番号または著者名等を明記し、研究と参考文献との関係を明らかにする)

**付録**

表紙・背表紙・表題紙の体裁について

修士論文要旨(和文・英文)の体裁について

< 和文の場合 >

修士論文2012年度(平成24年度)  論文題目   慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科  氏名	修 士 論 文 論 文 題 目  氏 名
---	--

修士論文2012年度(平成24年度)  論文題目 論文要旨   キーワード 1 2 3 4 5 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科  氏名	Master's Thesis Academic Year 2012  Title  Summary   Key Words 1 2 3 4 5 Graduate School of Media and Governance Keio University  Name
---	--

< 英文の場合 >

Master's Thesis (Academic Year 2012)  <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">Title of the Thesis</div>   Keio University Graduate School of Media and Governance  Name	Master's Thesis  <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">Title</div>  Name
--	---

Master's Thesis Academic Year 2012  Title Summary   Key Words 1 2 3 4 5 Graduate School of Media and Governance Keio University  Name	修士論文2012年度(平成24年度)  論文題目 論文要旨   キーワード 1 2 3 4 5 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科  氏名
--	---